

小児科外来よりお知らせ

みなさん、こんにちは。昨年の10月より水曜日に限り再開した小児科外来ですが、この4月からは木曜日も診療を行っております。あと数ヶ月もしますと、インフルエンザの予防接種シーズンとなります。中学校卒業年度の方までは小児科で対応いたしますし、保護者の方への接種も同時に可能です。接種を予定されている場合には、是非当科外来へ御予約下さい。

表現が難しいのですが、「ちょうど水曜・木曜にあわせて風邪をひく、あるいは風邪がこじれてきたようだ」というようなお子さんはなかなかいないため、現状小児科外来は受診手続き後、スムーズに診療ご案内可能です。ですから予防接種のみならず、乳児健診、学校検診の精密検査、あるいはちょっと小児科医に聞いてみたいこと、など何でも結構です。遠慮なくお声がけください。

申し遅れましたが、私は主に水曜日を担当しております、松木琢磨と申します。専門分野は腎臓疾患になります（日本小児科学会専門医、日本腎臓学会専門医）。おねしょ対策やトイレトレーニングなど生活に密着した課題も対応しますので、お悩み相談からでも結構です。木曜日は、岩澤医師（循環器）、和田医師（代謝）、内田医師（消化器）、高橋医師（循環器）で交替制になっています（（ ）内は専門分野）。私含め、みな東北大学小児科の大学院生です。医師でもあり学生でもある不思議な立場です。詳細を知りたい方は外来へどうぞ（紙面で語るにはなかなかどうして微妙な部分もあるため今回は控えます）！ちなみに、全員小児科学会専門医は取得しておりますのでご安心ください。

水曜・木曜のみという大きな制限がありますが、地域の小児医療のため微力を尽くして参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



小児科医師 松木 琢磨

リハビリテーション科のご紹介

当院リハビリテーション科は、「病気やけが等により、身体的・社会的に不利になった方々に対し、その方らしい生活を取り戻し、その御家族の介護生活を考慮した上で総合的に支援し、個々に合ったQOLの向上を目指す」という基本理念のもと、現在、PT12名、OT5名、ST2名、物療3名の計22名のスタッフで構成しております。また、地域に貢献できる病院の専門職として医療の質を高めていけるよう、定期的なカンファレンスや症例検討会の実施、新入職者に対する教育システム、院内外の研修・勉強会等の参加を行っております。

当科では、入院・外来にて、脳血管疾患等リハビリテーション料I、運動器リハビリテーション料I、呼吸器リハビリテーション料I、がん患者リハビリテーション料、摂食機能療法を算定しております。必要に応じて、自宅や施設へ退院される方々への自宅・施設訪問を行い、必要な介護用品の選定や介護サービス・家屋改修の提案と環境に適したADL練習を行っております。また、訪問リハビリテーションもっており、在宅の患者様に対し、その方の生活に沿ったリハビリ練習を実施しております。

平成29年8月からは、院内リハビリテーション室内にて90分間の短時間通所リハビリテーションを開業いたします。病気・けがや年齢と共に運動機会が減っていく中で現状の身体能力を維持及び向上していけるよう、専属のリハビリスタッフ（PT・OT）が利用者様に適した自主トレーニング内容を提案し実施していただきます。ご興味のある方は、当科スタッフまで問い合わせください。



リハビリテーション科スタッフ

基本理念

医療と福祉の総合的なサービスの提供を行うことにより、地域医療に貢献いたします。
医療と福祉を融合することにより、地域の皆様の信頼を得、安心を提供していける地域に密着した病院運営を行います。

褥瘡対策室のご紹介

褥瘡対策室は、2016年10月から看護部の中に看護師1名、管理栄養士1名の新たな組織として発足しました。

入院時に褥瘡のある患者さんや入院中に褥瘡ができた患者さんのケアだけでなく、発生リスクのある患者さんに対して予防的ケアをいろいろな職種から提供できることを目的に活動を行っています。

褥瘡とは？

褥瘡とは、寝たきりなどによって、体重で圧迫されている場所の血液の流れが悪くなることにより、皮膚の一部が赤い色味をおびたり、ただれたり、傷ができてしまうことです。一般的には「床ずれ」ともいわれています。

褥瘡はなぜできるのでしょうか？

私達は普通、無意識のうちに眠っている間は寝返りを打ったり、長時間椅子に座っているときは、お尻を浮かせるなどして、同じ部位に長い時間圧迫が加わらないようにしています。しかし、自分でこのような動作ができない方は、自分の体重で長時間圧迫され皮膚の細胞に十分な酸素や栄養が行き渡らなくなり、これにより「褥瘡」ができます。

当院では川上医局長を中心に病棟看護師、管理栄養士、理学療法士、薬剤師、介護福祉士で構成された褥瘡対策チームも設置されており、定期的に回診を実施して褥瘡の処置や環境調整、ケア方法について指導や助言をスタッフに行っています。

褥瘡の発生は圧迫だけではなく、オムツの使用、栄養状態の低下、やせているなど様々な原因が考えられます。私たちは、看護師、管理栄養士としてそれぞれの専門的立場で食事から排泄までのサイクルへ介入し褥瘡予防・ケアに努めています。

褥瘡や栄養などでお悩みなどありましたら、いつでも褥瘡対策室へご相談ください。



褥瘡対策室スタッフによる研修

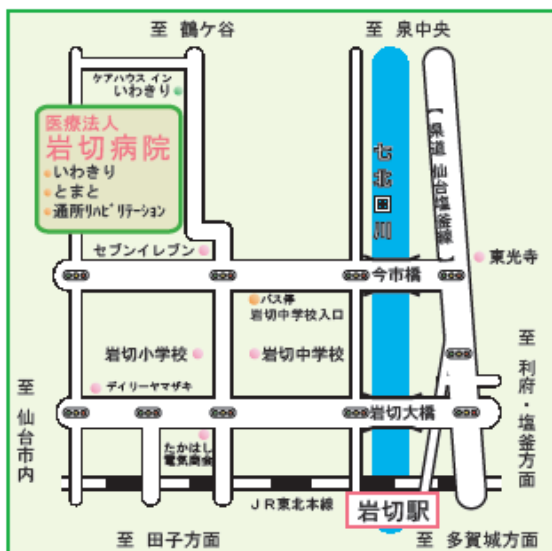
編集後記

JOIN US ジョイナス 4号をご覧いただきありがとうございます。すっきりしない毎日ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。実は当院でも小児外来を週2回行っていました。ご存知でしたか？ 診察、予防接種、乳児健診でご利用くださいね。

地域医療連携室



Access



関連施設

通所リハビリテーション デイケア

TEL : 022-255-5141 / FAX : 022-255-5539

透析センター

TEL : 022-255-5149 / FAX : 022-255-2231

ケアプランセンター いわきり

TEL : 022-255-5132 / FAX : 022-255-5611

訪問看護ステーション とまと

TEL : 022-255-3066

- JR 仙台駅よりバスで約40分（岩切中学校入口下車）
- JR 岩切駅よりバスで約10分（岩切中学校入口下車）
- バス停「岩切中学校入口」より徒歩5分



〒983-0821 宮城県仙台市宮城野区岩切字稲荷21

TEL : 022-255-5555 (代) mail : info@iwakiri-hp.jp

FAX : 022-255-5581